



山々に初雪が降り、秋を楽しめないままに、冬の到来が近づいています。
新型コロナウイルス感染症は全国的な減少傾向となり、経済活動も復活しつつありますが、終息はしておらず、第6波の流行とインフルエンザが危惧されています。まだまだ、感染防止対策を行ったうえでの日常生活が重要なので、健康チェック、マスク着用、手洗い・うがいをしっかりと励行しましょう。

第72回 全国学校給食研究協議大会

10月21日(木)・22日(金)北海道札幌市に於いてオンライン開催されました。

『「生きる力」をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実 ～学校給食ではぐくもう 次代を担う子どもたちの心と体～』を主題に、1日目は全体会、2日目は分科会が行われました。分科会は、学校給食の管理及び食に関する指導について8分科会に分かれ、各研究主題に沿って研究協議が行われました。第6分科会では、「学校給食における食物アレルギーの対応及び個別的な相談指導の充実」を研究主題に、八戸市立桔梗野小学校 栄養教諭 宮内郁江さんの発表がありました。「八戸市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの策定と事故防止の取組～児童生徒の安全安心と楽しい給食を目指して～」の内容で、感染対策がされている中、現地からの発表となりました。

祝! 文部科学大臣表彰

蓬田村立蓬田中学校 (蓬田村学校給食センター)

おめでとうございます

栄養教諭 今井 裕子 氏が表彰されました。

文部科学省は、学校給食の普及と充実を図るため、優秀な成果をあげた個人及び団体を「学校給食功労者」として、表彰しています。例年、上記の全国学校給食研究大会の会場に於いて表彰式が行われていましたが、新型コロナ感染症の影響を鑑み、県外移動を避ける観点から、開催県である北海道の受賞者のみが現地で表彰され、郵送での授与となっています。

第16回全国学校給食甲子園

12月4日(土)にオンライン開催されます。

今年度は、ネット一括での応募となり全国から1,355件の応募があり、10月26日の最終審査(第4次)において全国6ブロック12代表が決まりました。

青森県からは、おいらせ町立学校給食センター 栄養教諭 大坊末世子さんが選ばれています。今回も新型コロナ感染防止のため、当日は調理審査ではなくオンラインYouTubeにおいて「食育授業コンテスト」から優勝献立、準優勝献立賞、特別賞などを選定のうえ、結果発表及び表彰式が行われます。

もち麦ごはん、牛乳、さばのおろしソースがけ、キャベツと蕪きみのおかか和え、長芋のマーボー風汁



学校給食管理システムのデータ更新について

◆当給食会が貸与する栄養価計算ソフト「学校給食管理システム」について、日本食品成分表に記載されている全食品の8訂のデータが出来ました。更新をご希望の方は連絡をお願いします。

物資細菌検査結果について

◆10月に入庫した物資の細菌検査結果は、一般生菌・大腸菌群及び大腸菌・黄色ブドウ球菌について検査したところ、いずれも問題ありませんでした。なお、検査した製品は次の7品です。

ベビーほたて	照焼チキン	あじレモン醤油煮	おからコロッケ(Fe・Ca)
レバー入りチキンメンチカツ	ラフランスゼリー	おつゆせんべい	